

東海大学医学部付属病院にて  
2015 年 4 月 1 日から 2019 年 5 月 1 日の期間に  
乳癌の手術をされた患者さんおよびそのご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

\*\*\*\*\*

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの【試料および情報】を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦 2015 年 4 月 1 日から 2019 年 5 月 1 日の間に、当院乳腺外科で乳癌の診療【入院・通院、手術、検査】を受けた方で先行研究 20R249：“乳癌におけるアンドロゲン受容体シグナルを介した腫瘍免疫制御機構の解明”に登録された患者様

研究課題名：乳癌における S1PR2 発現と腫瘍免疫環境に関する研究

倫理審査番号：25R215

研究期間：【許可日】～2031 年 3 月 31 日

26-424

【本研究の目的・意義】

本研究の目的は、乳がんの組織における「S1PR2」というたんぱく質の発現と、腫瘍の周りに集まる免疫細胞の状態との関係を明らかにすることです。近年、免疫の力を利用した治療が進んでいますが、その効果には個人差があり、その理由は十分に分かりません。本研究により、乳がんにおける免疫の働き方についての理解を深めることを目指します。将来的には、治療の効果を予測したり、より適切な治療法を選択するための手がかりとなる可能性があります。研究成果は学会や論文で発表され、今後の医療の発展に役立てられます。

【使用する試料・情報の例】

試料：手術で取り除いた乳がんの組織（標本）

情報：診療記録（年齢、性別、閉経の有無、これまでの病気やご家族の病歴など）、病理検査の結果（がんの種類や大きさ、広がり、ホルモン受容体や HER2、Ki67 の結果）、腫瘍の周囲に集まる

免疫細胞の状態（リンパ球の量や PD-L1 の発現）、乳癌組織及び血液中の免疫細胞の種類割合（T 細胞：CD4<sup>+</sup>T、CD8<sup>+</sup>T、B 細胞、単球／マクロファージ、CD16<sup>+</sup>単球、骨髄由来免疫抑制細胞（MDSC）、樹状細胞（DC、mDC）、NK 細胞、minor NK 細胞、NKT 細胞）、およびその後の経過に関する情報

#### 【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後 5 年後もしくは成果発表から 3 年後の何れか遅い方に破棄します。

#### 【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

#### 【研究資金・利益相反について】

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

#### 【研究組織】

研究機関名：東海大学医学部附属病院

研究責任者所属・氏名：東海大学医学部 外科学系 乳腺・腫瘍科学 准教授 花村 徹

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

#### 【お問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 乳腺外科 花村 徹

住所 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143

電話番号： (0463)-93-1121 内 5174

FAX 番号： (0463)95-5941

#### 【更新履歴】

2026 年 03 月 16 日 第 1 版

2026 年 04 月 16 日 第 1.1 版